

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 森林整備課長 前島 和弘 電話番号 0852-22-5173

事務事業の名称	林道事業	
目的	(1) 対象	県民（森林所有者 山村地域住民）
	(2) 意図	森林管理・森林整備の推進、林産物搬出・流通を図るための基盤施設として林道を整備する。
事業概要	○県営広域基幹林道整備事業：奥地森林地域における森林整備の推進及び林産物流通の円滑化を図るために、骨格となる林道を整備する ○県営・市町村営林道開設事業：森林整備に必要な森林内の路網を形成するために林道を整備する ○林道施設災害復旧事業：自然災害により被災した既設林道において、林道の機能を回復するために被災箇所を復旧する	

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	開設延長（供用開始延長）	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		9.50	6.00	3.50	3.50	
式・定義	年間林道開設延長		実績値	13.70	14.70	4.90	5.10		
			達成率		154.70	81.70	145.80		%
指標名			年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	2,449,505	2,704,260
うち一般財源(千円)	241,159	246,080

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○森林計画樹立事業による地域森林計画に搭載された林道路線を計画的に整備している。  
 ○事業実施に当たっては、造林事業等による森林作業道等の細部路網と調整を行い、森林施業の効率化と木材搬出コストの縮減を図った。  
 ○島根県の林道密度は、全国平均の5.1m/haに対して3.4m/ha（44位）と整備水準は低位な状況にある。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

平成26年度は、国庫補助事業により15路線の開設事業を中心に林道を整備した。  
 開設延長 L=5,076m

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
 ○林道の開設進捗の遅延
- ②困っている状況が発生している「原因」  
 ○林道を開設する地域は、山間地の急峻な地形が多く、工事施工に多大な経費と時間がかかっている。  
 ○県や市町村の財政事情から、費用の負担を抑制せざるを得ない状況があり進捗が遅れている。
- ③原因を解消するための「課題」  
 ○開設単価の軽減のためのコスト縮減  
 ○事業費の確保

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○地権者を始めとする関係者に事業計画の周知を図り、理解を得ることで事業実施を円滑なものとする。  
 ○現場条件に適した工法を選択しコスト縮減に取り組む。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）